



▲新成人の皆さん

お盆に二十歳の誓い

平成26年度

成人式

平成26年度の只見町成人式が8月15日に季の郷湯ら里で行われ、成人者57名のうち41名が出席し新成人としての第一歩を踏み出しました。

目黒町長は式辞で、「新成人の皆さんには只見に生まれ育ったことを誇りに思っ
て欲しい。また、皆さん一人一人がふるさと只見の力になり豊かな町づくりの原動力になつていただきたい。」と述べられました。

成人証書授与では新成人から家族へのメッセージが読み上げられ、「只見に生まれて良かった」「只見を出て、只見の良さを改めて感じた」などふるさと只見を思う気持ちが多く聞かれました。

今年先輩からのメッセージとして、只見町で働く2人の先輩から新成人の皆さんへメッセージが送られ、自分がこれまで経験してきた事からこれからの人生に役立てて欲しいことなどが話されました。

最後に成人者代表謝辞として山内晴夏さんが「成人を迎えることに不安もありましたが、本日皆さんからのお話を胸に刻み、これからも精一杯努力していきたいと思えます。また、悩み迷った時は只見という素晴らしい故郷の皆さんの力を借り、只見町に少しでも恩返しできるような大人になりたいと思えます。」と謝辞を述べました。



▲謝辞を述べる山内さん



▲会場は久しぶりの再会に笑みがこぼれていました



▲一人一人に渡された家族からの手紙を読む新成人



▲成人証書を受け取る新成人



只見町観光まちづくり協会
黒田 晶子さん

農業
吉津 鉦二さん



先輩からの メッセージ

山登りが好きで色々な山に登ったが、只見の山に登り只見が好きになった。田舎暮らしが昔からの夢ということもあり、5年前に只見に移住してきた。皆さんには当たり前かもしれないが、「ふるさとがある」、「帰る場所がある」、「迎えてくれる仲間がいる」事は素晴らしいこと。若い時に失敗して、悩んで、大きくなっていつか只見に帰って来て下さい。

大学を出てから自分を変えようとインドに行ったり、東京で働いていたが数年前に只見に帰ってきた。トマト農家の方からの誘いで農場で数年お手伝いをし自分もトマト農家をやりたいと考えるようになり、今年から独立してトマトを作り始めた。やりたいことが見つからなくても追い風が吹く時があるのであせらないでほしい。